



国立台湾师范大学

月例報告書 (4月)



はじめに

こんにちは！新学期に慣れてきましたが、それと同時に留学生活終了がだんだんと近づいてきた感じがします。あと少しですが、充実した日々を過ごせるように頑張ろうと思います。

中間テスト

今学期3つの授業を受けていますが、そのうちの2つで中間テストがありました。まず、それについて振り返っていききたいと思います。

當代中文

この授業では中国語を学んでいますが、正直、内容が難しく、漢字も複雑なので、テストは難しかったです。この授業で習った内容が台湾人の宗教的な側面を含んでいるので、学びながら台湾人の習慣も学ぶことができた気がします。

英語會話

この授業では、三人1組になって、教室の前で最近の出来事についておしゃべりするという形式のテストでした。みんなの前で話さなくてはいけないので少し緊張しました。



ICL (International comparison for learning)

主な3つの授業以外にICLという校外活動がメインの授業をとっています。この授業では、現地の台湾大学の学生とペアになって台湾の中学生と英語で交流するというのを行なっています。オンラインで行っていて、現地の中学生とお互いの国の食べ物や流行の歌などを週1回共有しています。現地の中学生がすごく元気に台湾の文化的なものを紹介してくれるので、元気がもらえるような気がします。



ICL旅行

ICLの活動でオンラインで交流をしている中学校に行き、実際に交流するイベントに参加しました。このイベントでは、自分たちが交流している中学校に加えて、他の留学生と台湾大学生が交流している近辺の中学校2校、合計3校に行きました。当日は他の留学生も参加していて、合計10人ほどで台中に行きました。各学校で体育をしたり、石鹸を作ったり、公園に冒険に行ったりなどのアクティビティを通して中学生と交流しました。現地の学生はすごく元気いっぱい、一緒に活動できて、楽しかったです。また、日本の一般的な学校では、こういった外国人との交流をするイベントがないと思うので、台湾の中学校の国際的な活動は進んでいるんだなと感じました。現地の中学校の先生も英語がすごく上手で、すごいなと思うと共に、活動を通して台湾の中学校について知れたので貴重な経験だったと思います。

